

鶴田町秋まるごと体験ツアー

鶴田の自然を満喫

鶴田町秋まるごと体験ツアーが、11月20日（木）～21日（金）、11月22日（土）～23日（日）に行われました。これは、本町の豊かな地域資源・魅力をアピールし、地域の観光振興や産業振興に結びつけることを目的に、開催されました。鹿児島市や鹿屋市などから42人の参加者があり、それぞれ鶴田の秋を満喫しました。22日～23日のツアーに同行して取材をしましたので、その内容をお知らせします。



ツアーに参加された方々

22日（土）12時、ツアー参加者が集合場所のあびる館に集まりました。事前に送ってあったアンケートを見てみると、「和紙体験が楽しみ」とか「川エビ・川ガニ取りが楽しみ」といったようにそれぞれ胸をワクワクさせながら参加していました。

じゃがいも掘り体験

この体験ツアーは、マイカーでの移動ということで、早速車に乗る移動、最初の目的地である大平の「じゃがいも掘り体験」に出かけました。畑に着くとじゃがいも農家の方々が待っており、まず湯田隆義さんよりこの地区のじゃがいも栽培のことなど説明を受け、早速ショベルや鍬を手に持ち、掘



大きなじゃがいもがとれたよ

り出しました。どんどん掘り進んでいくと大きなじゃがいもが顔を出し、子供たちから大きな歓声が上がっていました。大人の人も初めて体験した人が多く、みんな喜んでいました。子供たちに聞いてみると「さつまいもは、何回か掘ったことがあるけどじゃがいもは初めて掘ってみた。」と話していました。

収穫が終わると、準備してあった塩茹でのじゃがいもを試食しました。「普通のじゃがいもと違って甘みがあり、とてもおいしいですね。」「畑の中でお茶を飲んだりするのが懐かしい。」という声が上がっていました。

川エビ・川ガニ体験

次に、川内川に移動し、川エビ・川ガニ体験（仕掛け）をしました。はじめに田渕政春さんから仕掛けの仕組みやえさの入れ方の指導を受け、それぞれ実際にえさを入れ、船に乗り込みました。神子橋の下流に約20ほどの仕掛けを投入し、次の日の朝に引き上げます。仕掛けながら「明日、たくさん入っているかな？」とワクワクして船を下りました。



カニの仕掛けを川に投げ入れました

柿もぎとり体験

次は、紫尾に場所を移し、あおし柿体験です。湯下正美さんの畑の柿をそれぞれ自分でもいであおします。「柿をもぐとき、痛むと日持ちがしないので丁寧にもいで

ください。」と指導を受けて、もぎとり始めましたが、先を割った竹ざおでもいっていると、重かったせいか落とした子供もいました。収穫が終わるとそれぞれ自分の名前を書いた袋に柿を詰め、紫尾温泉の専用の浴槽につけました。

あおし柿体験

ここでは、実際今取れた柿を試食し、あまりの渋さにみんな吐き出してしまいました。区営温泉の管理人の上之原純夫さんから、「この渋い柿が、14時間ぐらいで甘い柿に変わります。」と説明を受けると、「不思議ですね。」と声が上がっていました。



朝早くおきてあおし柿の引き上げを体験

その後、それぞれ紫尾温泉にある5つの好きな温泉に入っているとあって、何ヶ所も回る姿も見られました。

翌日、6時30分、この冬一番の冷え込みの中、約15人が参加して柿を上げました。早速、試食をしてみると「甘い。おいしい。」と歓声が上がりました。

川エビ・川ガニ体験

8時ごろ旅館を出発し、2班に分かれて、昨日川に仕掛けた川ガニ・川エビの仕掛けを揚げました。揚げてみると、それぞれの仕掛けに川ガニや川エビが数匹ずつ入っていて、子供たちから大きな歓声が上がっていました。また、川面には朝もやが立ち上り、幻想的な雰囲気も楽しめました。

鶴田和紙体験

次に、鶴田和紙の体験をしました。大俣の野元八千代さんの自宅で紙すきの指導を受け、実際に紙をすきました。それぞれ、2枚ずつ紙をすいて、思い思いに草花をすきこみ、オリジナルの和紙を作りました。なかには、行灯を作って持ち帰る人もいました。みんな自分の作品に満足しているようでした。



どんな模様にしようかな（和紙体験）

昼食・解散

その後、大鶴ゆうゆう館に場所を移して、昼食をとりました。昼食は、自分たちで収穫した川ガニと川エビがメインの料理です。大きなカニが丸ごと一匹入っており、食べ方の説明を受けながら、ほおばっていました。その後、自慢館で買い物を楽しみ全行程を終えました。

参加者の感想

鹿児島市から、参加された二石さゆりさん（44）、充君（9）、光君（7）の家族は、「新聞でこのツアーがあるのを知りました。子供たちに川の体験をさせたくて

参加しました。自分は、実際参加したら、和紙体験が良かったです。また、こういう機会があったら、友達も誘ってきたいです。子供たちも、いい体験ができたと思います。」と感想を話していました。また鹿屋市から参加された安達郁男さん（43）、玉美さん（41）、健太君（11）、美樹さん（9）も「子供たちに自然とふれあう体験をさせたくて参加しました。じゃがいも掘りが楽しかった。温泉も肌がつるつるして気持ちよかったです。4つ回りました。今度は、ホテルを見にぜひ来たいですね。」と話しました。

取材後記

このツアーには、4日間で延べ約60人のスタッフが参加し、地元関係者の協力で、鶴田の自然や伝統を満喫してもらえたのではないかと思います。話を聞いてみると、こんな体験は初めてという声が随所で聞かれ、これまで、自分たちがごく当たり前と思っていたことも、都会から来た人にとってはとても新鮮に映るものが多いということを感じました。